



## タイCPグループのシノバイオフーマシューティカル、医薬品開発のLTTバイオフーマにTOB



シノバイオフーマシューティカルリミテッド（ケイマン諸島。香港証券取引所に上場）は27日、医薬品開発のLTTバイオフーマ（東京都港区。2011年に東証マザーズ上場を廃止）に対してTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。TOBを通じて株式を買い増し、グループ企業との共同保有分と合わせて現在24.13%の所有割合を49.37%に引き上げる。LTTバイオに関して戦略的パートナーとしての位置づけを明確にするのが狙い。

LTTバイオ株の買付価格は1株3万4000円。買付予定数は3万3280株（所有割合25.24%に相当）。買付代金は11億3152万円。買付期間は1月27日～3月11日。公開買付代理人は三田証券で、決済の開始日は3月25日。LTTバイオはTOBに「積極的に賛同する」としている。

買付者のシノバイオはタイの巨大企業集団であるチャロン・ポカパン（CP）グループに属し、グループ内で製薬・医療事業を担う。シノバイオは現在、中国を主軸に製薬事業を手がけているが、中国国内での競争激化などに伴い、グローバル展開が課題となっている。このため、かねて結び付きが深かったLTTバイオとの資本関係をさらに強化する。

シノバイオ傘下で中国における中核子会社の北京泰徳制薬股份有限公司は1995年、LTTバイオの前身企業と中日友好病院（北京の政府系病院）と合併で設立された。